

2024年 8月31日

株式会社 バイタルケーエスケーホールディングス

個人投資家向け 会社説明会

代表取締役副社長

岡本 総一郎



自己紹介

岡本 総一郎（おかもと そういちろう）

1963年8月 生まれ

- 1993年3月 (株)協進(現株)ケーエスケー)入社
- 2008年7月 (株)ケーエスケー IR・広報部長
- 2013年7月 同社経営戦略部長
- 2014年6月 同社執行役員
- 2016年4月 同社社長室長
- 2016年4月 当社経営企画部IR担当部長
- 2017年6月 (株)ケーエスケー取締役社長室長兼営業本部長補佐
- 2018年6月 同社代表取締役社長(現任)
- 2018年6月 当社取締役〔IR担当〕
- 2019年6月 (株)バイタルネット取締役(現任)
- 2020年6月 当社代表取締役副社長
〔コーポレートコミュニケーション担当〕(現任)
- 2022年10月 当社サステナビリティ委員会 委員長(現任)

1. 当社の紹介

2. 中長期の成長戦略

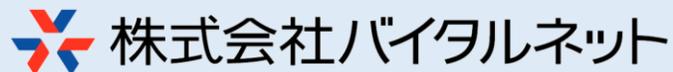
3. 2025年3月期 通期業績予想と株主還元策の強化

1. 当社の紹介

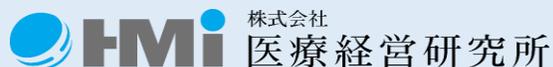
当社概要



医薬品卸売事業



薬局事業・コンサルティング事業



動物用医薬品卸売事業



その他事業

農薬卸売事業・介護事業・スポーツ関連施設運営等

設立	2009年4月1日	株式	東証プライム(証券コード:3151)
資本金	50億円	配当利回り	3.3% (2024年7月31日時点)
売上高	5,874億円 (2024年3月期)	グループ従業員数	3,705名 (2024年3月31日現在)
企業理念	「私たちは、健康で豊かな社会の実現に貢献します」		

医薬品卸売事業会社の営業エリア

株式会社ケーエスケー

設立 : 1962年7月
エリア : 近畿2府4県
売上高 : 2,812億円
拠点数 : 物流センター 3か所
支店 32か所
得意先 : 約22,000軒

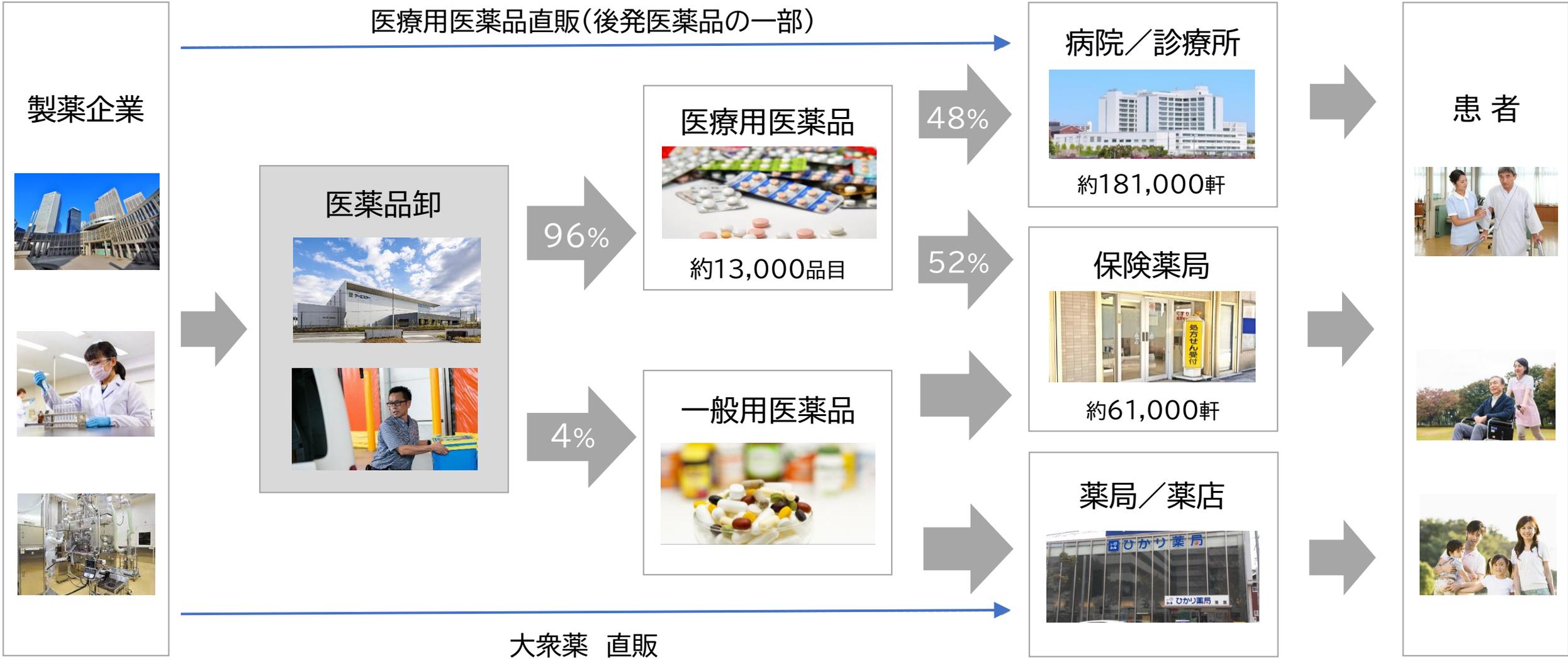
株式会社バイタルネット

設立 : 1950年2月
エリア : 東北6県・新潟
東京、埼玉、栃木
売上高 : 2,829億円
拠点数 : 物流センター 4か所
支店・営業所 53か所
得意先 : 約20,000軒

株式会社 ファイネス ※ 持ち分法適用会社

設立 : 2014年1月
エリア : 北陸3県

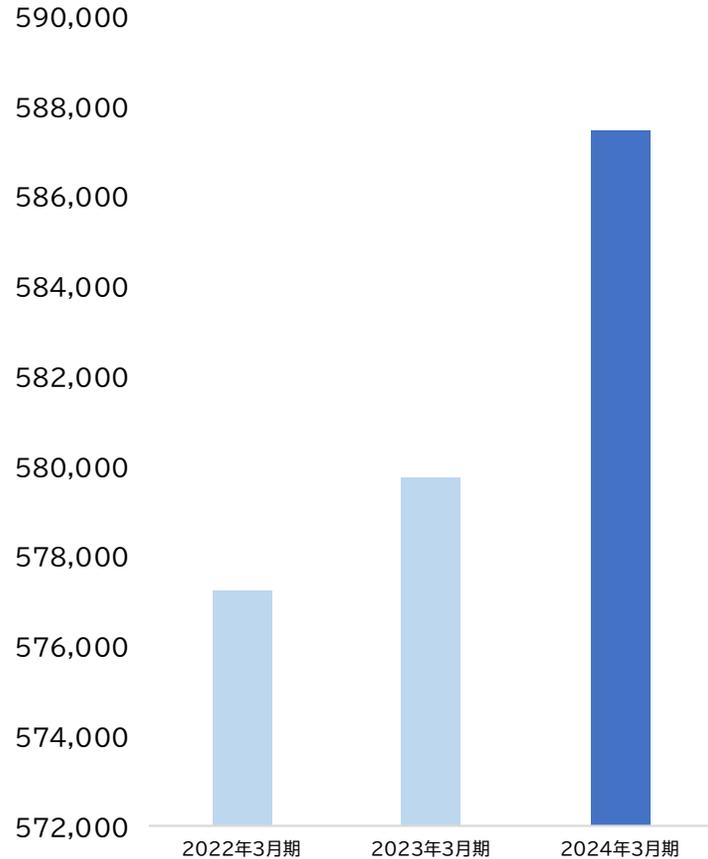
医薬品卸の役割



各経営指標の推移

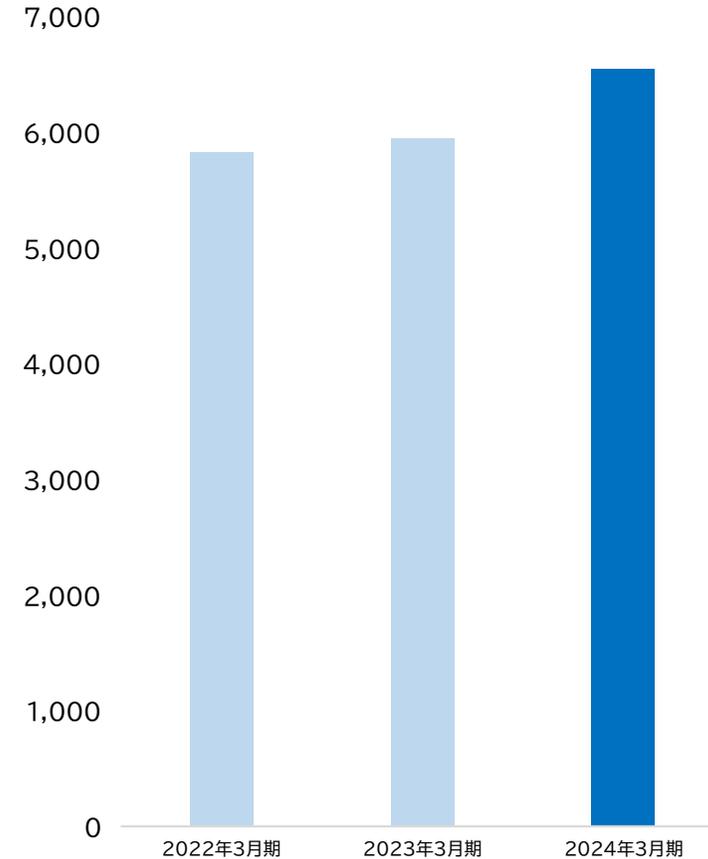
■ 連結売上高

単位:百万円



■ 連結経常利益

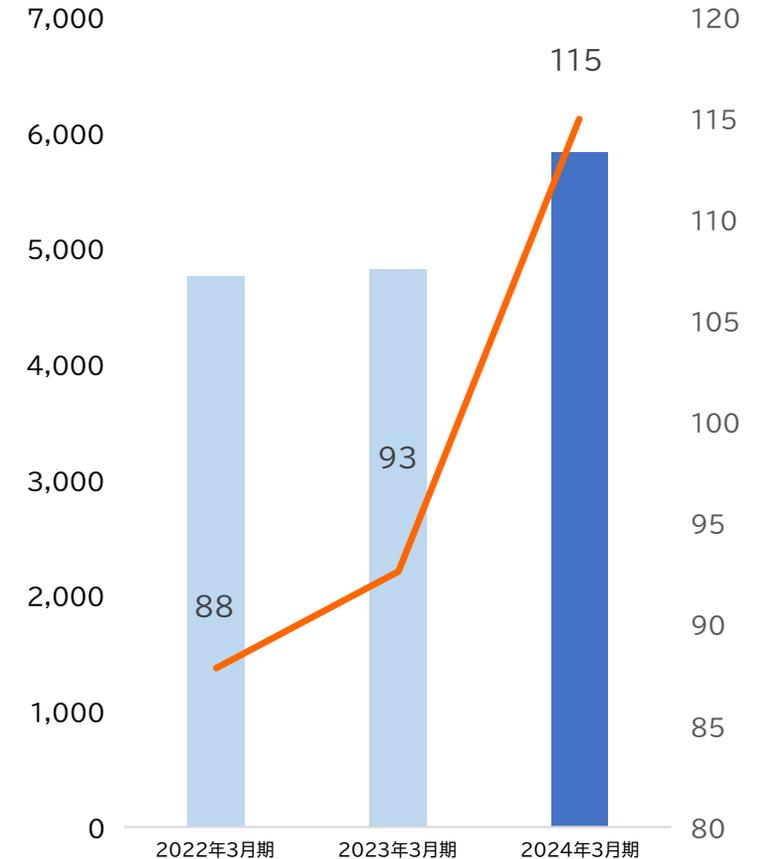
単位:百万円



■ 連結当期純利益とEPS

単位:百万円

単位:円



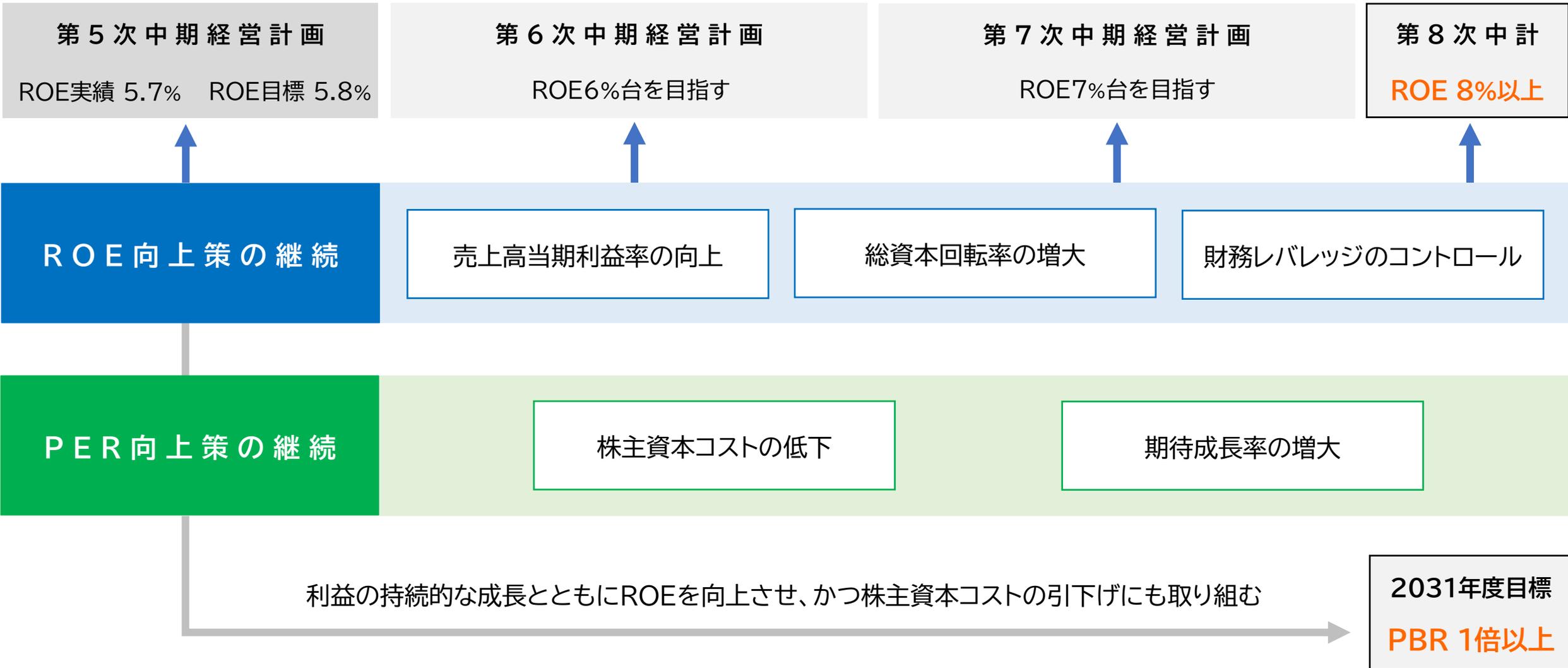
2. 中長期の成長戦略

2. 中長期の成長戦略

(1) 資本コストを意識した経営

当社PBR1倍までのロードマップ ※2023年12月26日公表

2023年 2024年 2025年 2026年 2027年 2028年 2029年 2030年 2031年 2032年



ROEの向上

売上高当期利益率の向上

- コア事業の収益力の向上
 - ・ 事業別・得意先別営業利益管理の徹底
 - ・ より高度なサプライチェーンの構築
 - ・ 医療用医薬品以外の販売強化
 - ・ DX推進による生産性の向上
 - ・ 物流拠点の統廃合と人員の適正配置
- ノンコア事業の拡大や事業継続の見極め
- 新規事業の育成やM&Aの展開
 - ・ 3PL事業の拡大と周辺事業の開拓

総資本回転率の増大

- CCC^(注)を意識した債権・在庫・債務月数の短縮
- 遊休不動産の処分
- 政策保有株式の処分

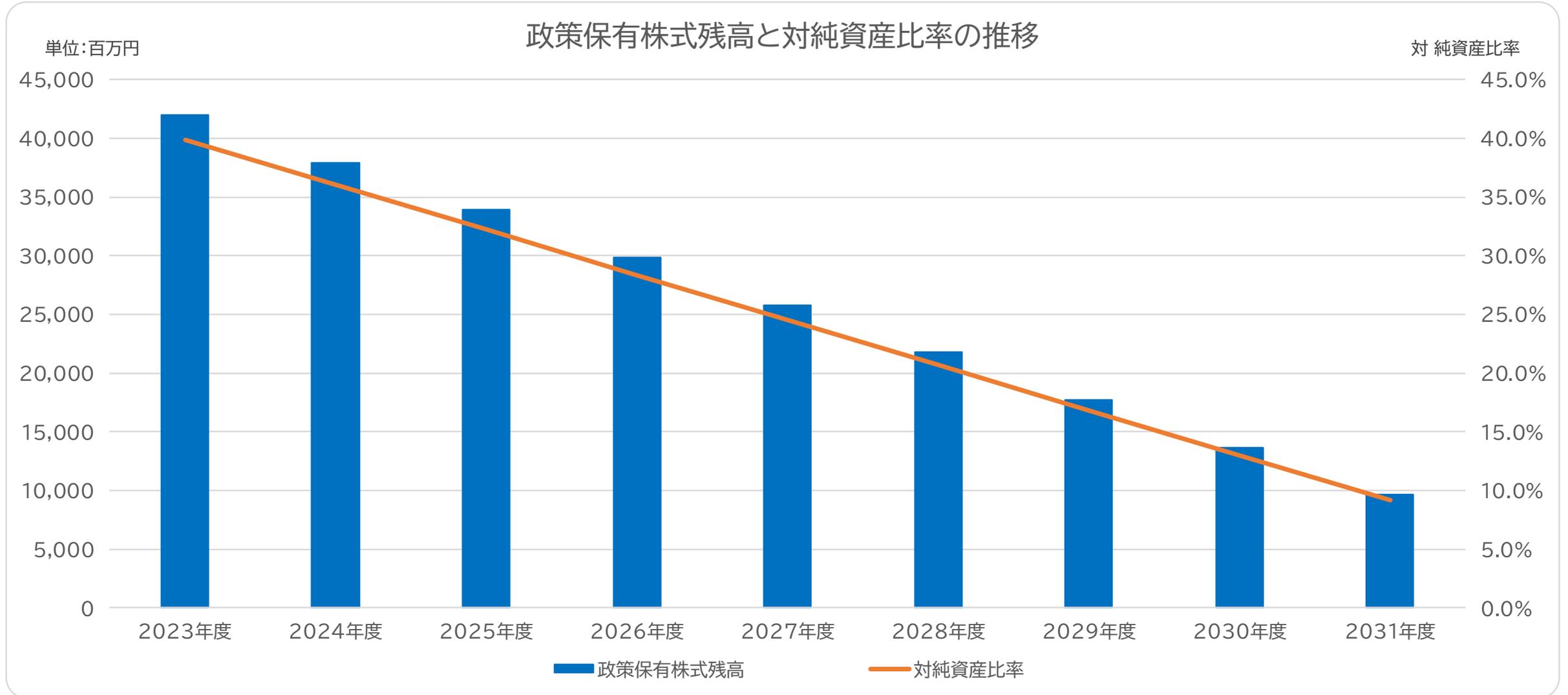
(注)CCCはキャッシュ・コンバージョン・サイクルの略。

財務レバレッジのコントロール

- 株主還元策の強化
- 最適資本構成によるBSコントロール

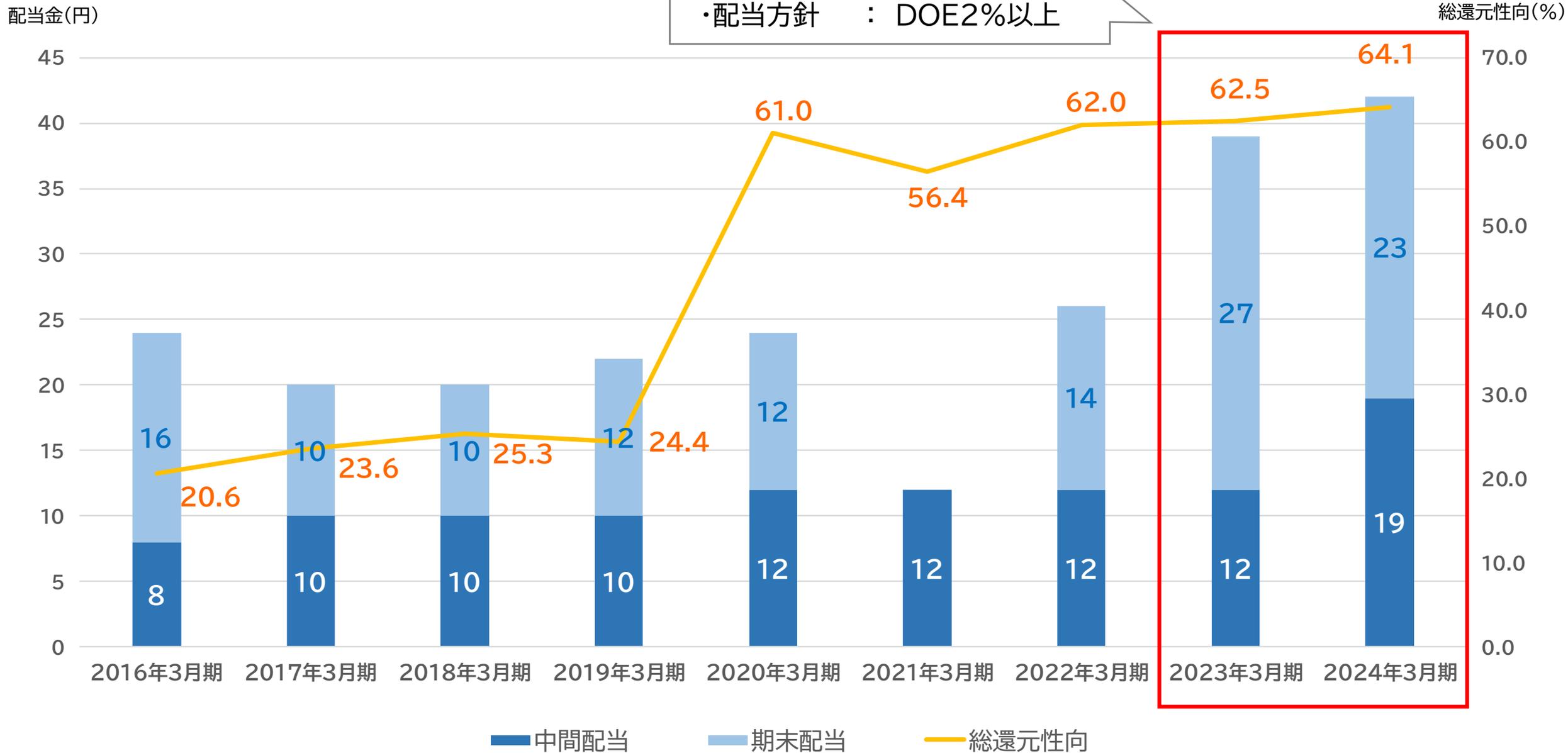
政策保有株式の処分

■ 2031年度に向けて、政策保有株式の毎年度の処分額を増やす



■ 配当金と総還元性向の推移

2023年3月期からの株主還元策
 ・総還元性向：50%以上
 ・配当方針：DOE2%以上



2. 中長期の成長戦略

(2) ケーエスケーの取り組み

2020年まで私たちがめざしていた姿



地域に寄り添う、健康スペシャリスト企業へ

K S K

日々変化する地域医療において、変わることのない人々の健康への願いを叶えるため、私たちは近畿の医療に関わるさまざまな事業活動を通じ、社員一人ひとりが更なる探究心を持ち、チームケーエスケーとして、あらゆる可能性にチャレンジし続けます。



地域の医療連携を加速させる エリア・パートナーの活躍

ケーエスケーだからこそできる「住みよいまち」づくり



“エリアパートナー” 独自性の高い取り組み

- コミュニティ community 共同体、集まり
- エリア area 地域
- チェーン chain 鎖、鎖のようなもの
- サークル circle 同じ趣味・研究をする者の集まり

- パートナー partner 共同で仕事をする相手
- サポーター supporter 支持者、後援者
- コーディネーター coordinator
物事を調整する役の人
- インストラクター instructor
指導をおこなう者



AP (Area Partner)

小さな顔の見える会(AP連絡会)

小さな顔の見える会(AP連絡会)



地域連携室

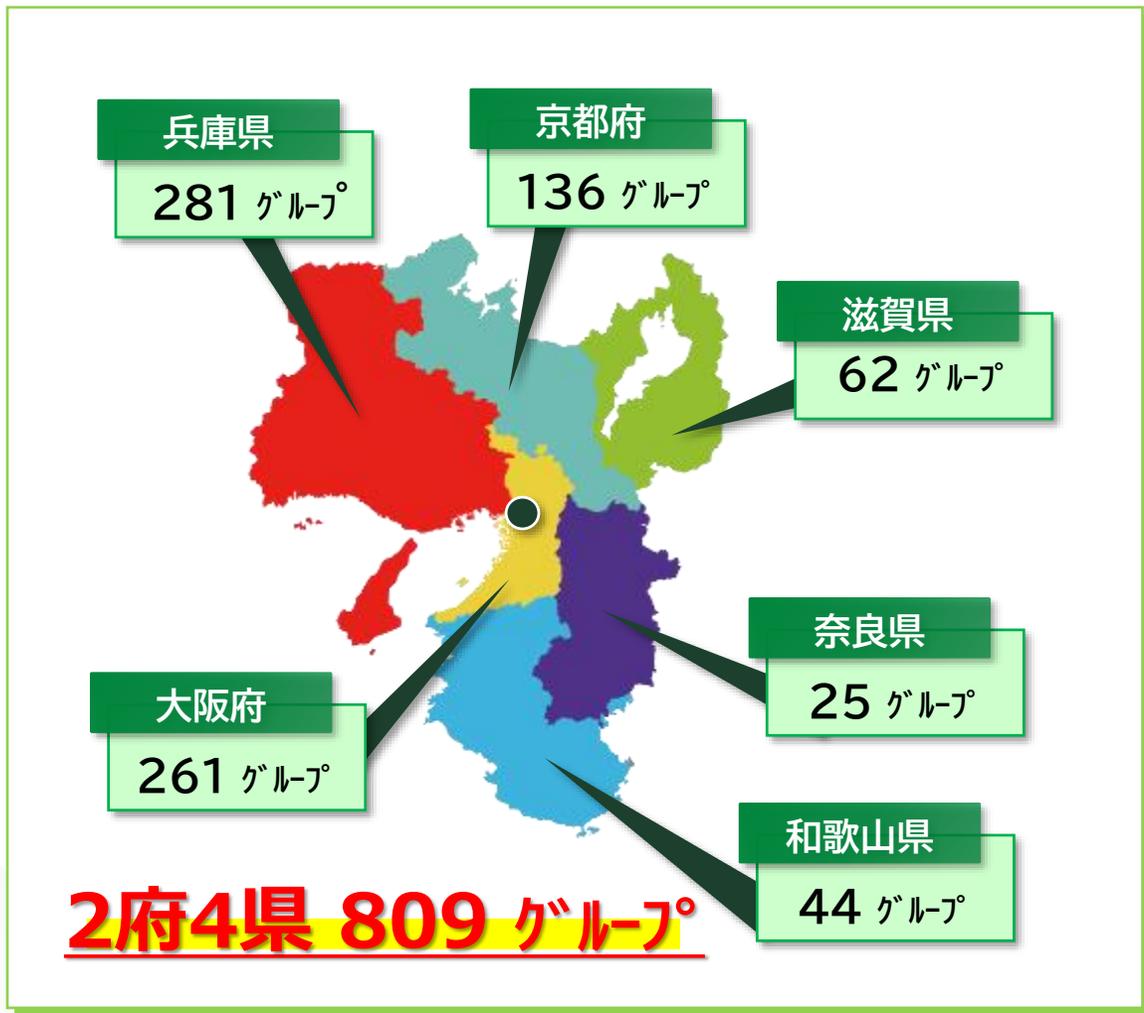
地域医療連携室、医療連携科、
患者支援室、連携センター など

※APとはエリアパートナーの略

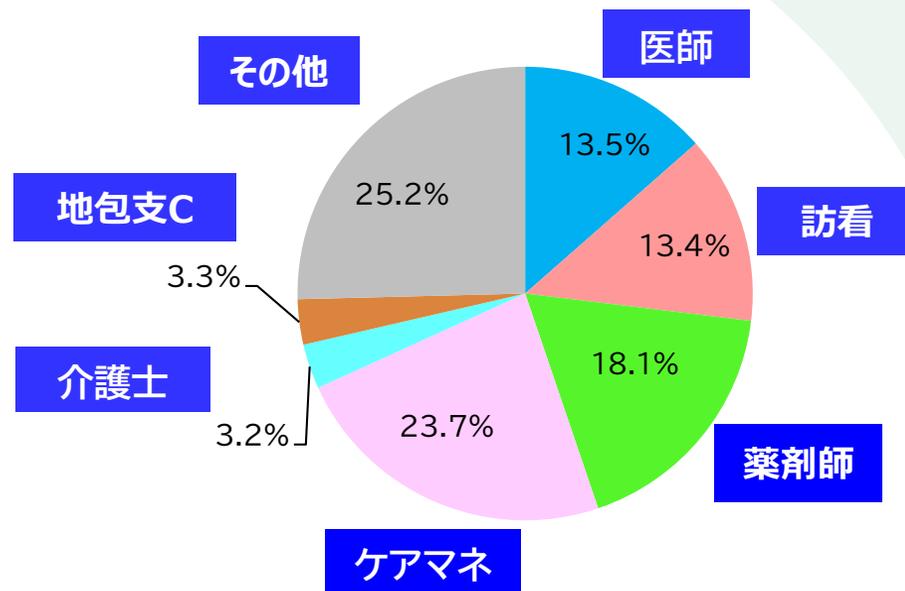
商標登録
AREA PARTNER
KSK CO., LTD.
登録第5930770号
REGISTRATION NUMBER

小さな顔の見える会(AP連絡会)

府県別 グループ数 [2024年7月末日 現在]



職種別 参加割合(ケーエスケー除く)



医師	887名	介護士※1	211名
訪問	882名	地包支C	215名
薬剤師	1,167名	その他	1,660名
ケアマネ	1,559名	ケーエスケー	485名

合計 6,581(+485)名

※1 介護福祉士+ヘルパー

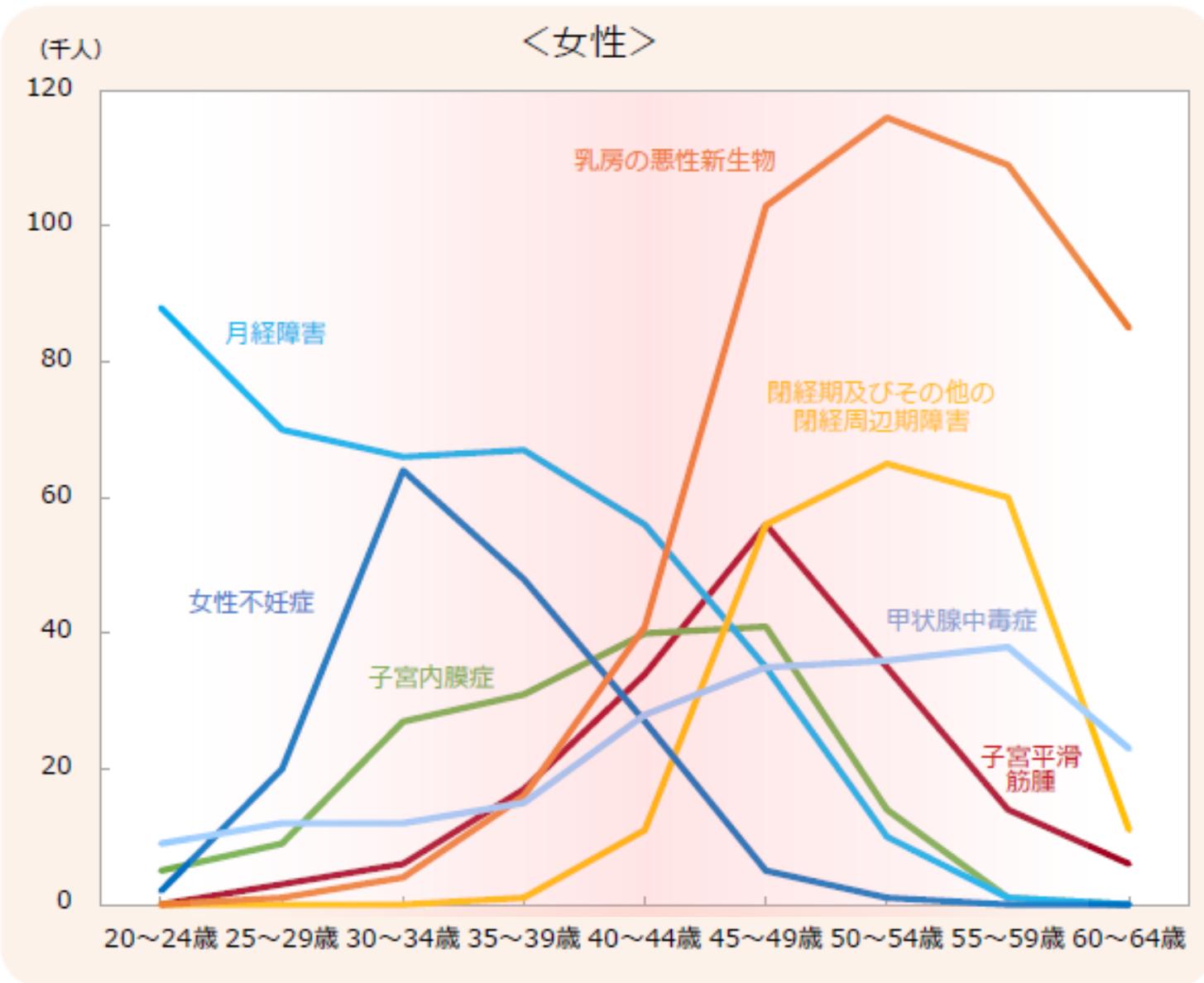
AP連絡会 当日の様子



女性特有の疾患・健康課題解決への挑戦

ウィメンズ ヘルスケア ソリューション部(WHS部)の始動

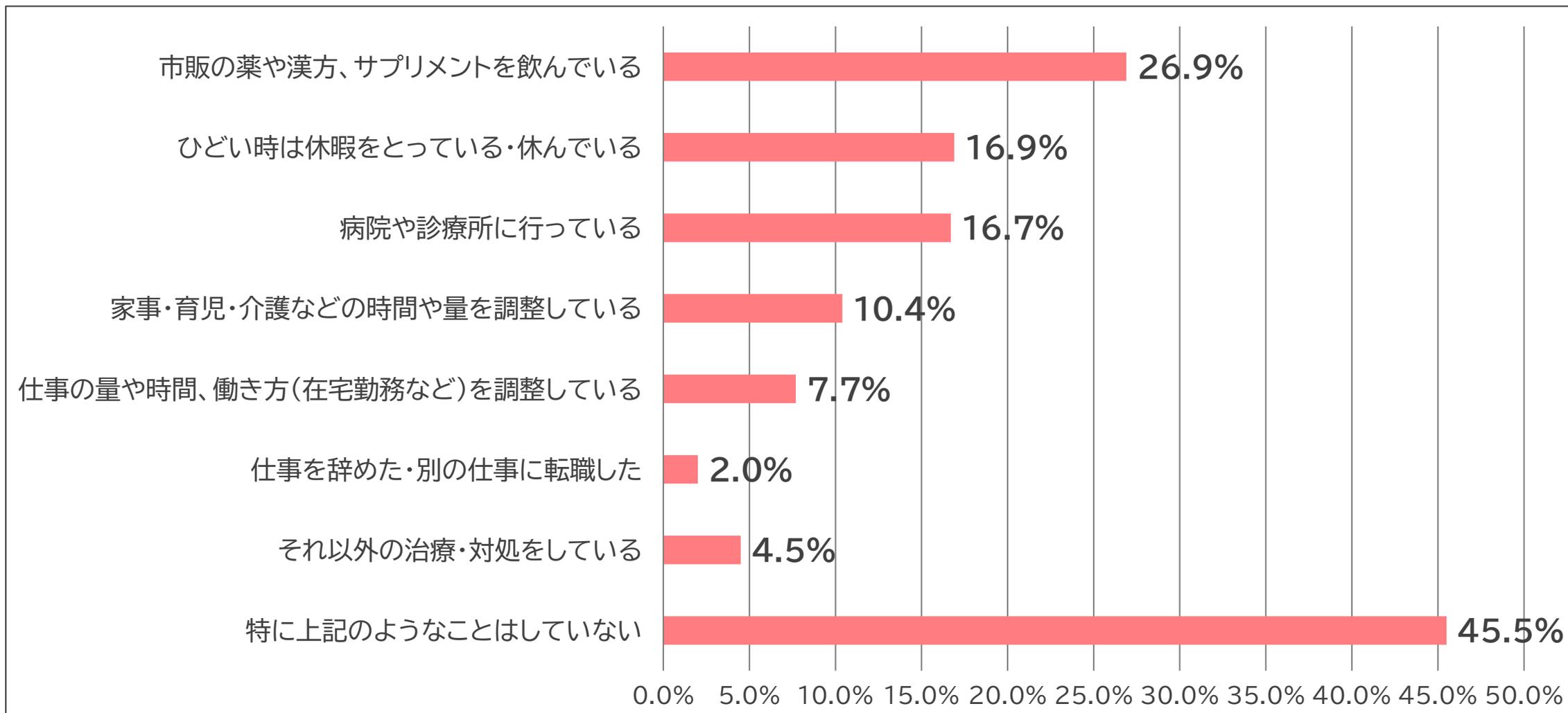
女性特有の病気の総患者数(年齢階級別・令和2年)



女性特有の病気は
20歳から50歳代の
働く世代に多い

出典:内閣府男女共同参画局 令和6年版男女共同参画白書

更年期障害にかかわる症状がみられ、更年期障害だと思う40～59歳女性(n=1,055)





【ウィメンズ ヘルスケア ソリューション部 ログデザイン】

健やかに育つ植物を女性に見立てたデザイン

女性に関わる新事業において、地域にしっかり根付き新事業が
広がっていく様子を植物のフォルムになぞらえて表現



働く女性が人知れず体調不良を我慢することなく
健康的で生き生きと活躍できる社会づくりに貢献します

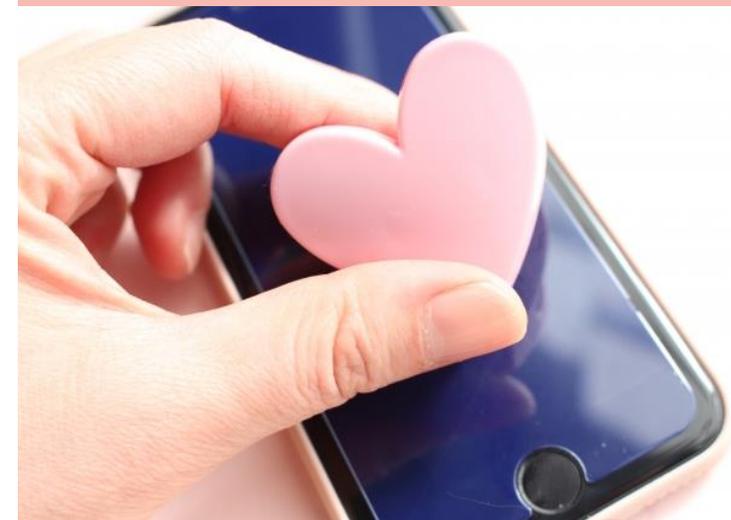
疾患啓発・情報提供



医薬品



フェムテック



DISCOVER MYSELF

LED ladies'
entrepreneur
discussions

ビジネスプラン発表会



出典:公益財団法人大阪産業局 女性起業家応援プロジェクト&ネットワーク運営事務局

Love is...

— DISCOVER MYSELFファイナルイベント —

2024.3.5 TUE

14:00-17:00



出典:公益財団法人大阪産業局 女性起業家応援プロジェクト&ネットワーク運営事務局

物流課題への挑戦



いつ、いかなるときも
必要としている人たちにお薬を届けたい

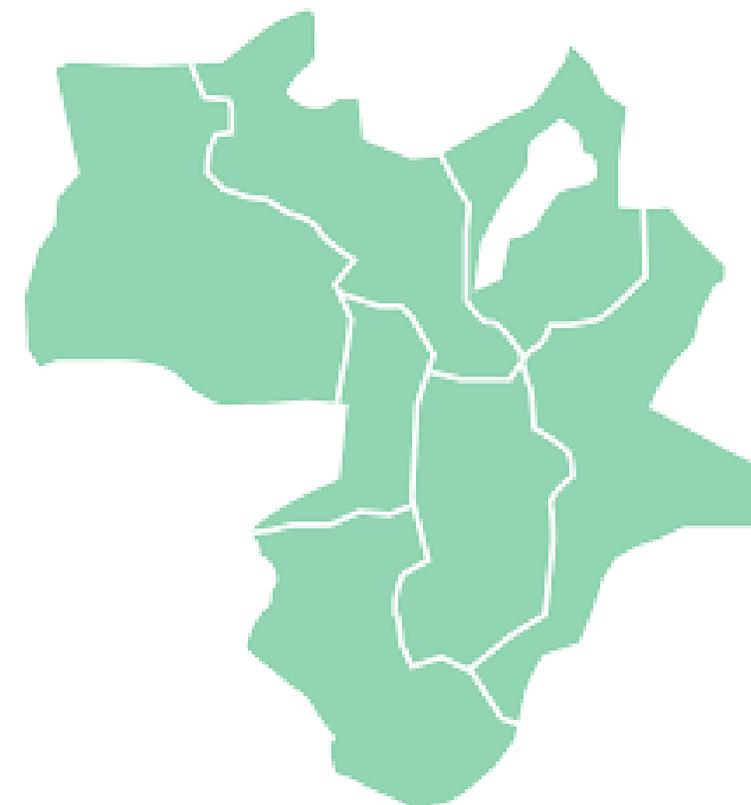


近畿において、**和歌山県・奈良県** が深刻な過疎、無医地区の課題エリアとなっている

■ 過疎関係市町村数

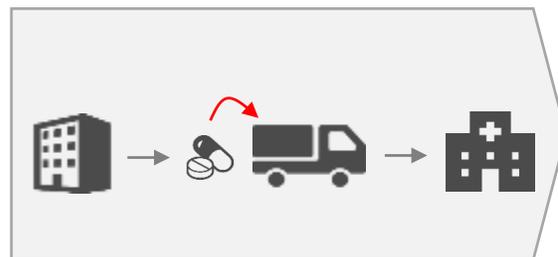
調査日 平成29年4月1日時点

都道府県名	市町村数計	過疎関係市町村数計	過疎市町村	みなし過疎市町村	一部過疎を有する市町村
滋賀県	19	2	0	0	2
京都府	26	10	7	1	2
大阪府	43	1	1	0	0
兵庫県	41	10	7	0	3
奈良県	39	18	18	0	0
和歌山県	30	18	15	2	1
2府4県合計	198	59	48	3	8
全国合計	1,718	817	647	25	145



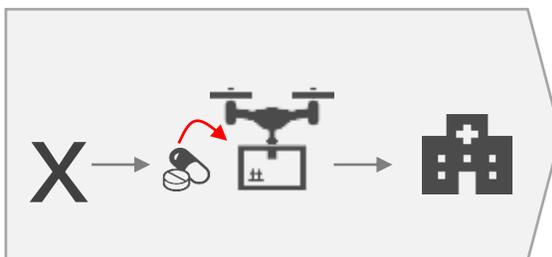
区分	参画者
医療機関	 和歌山県立医科大学 WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY
行政・自治体	和歌山県 日高川町
企業	  株式会社ケーエスケー

現状(FY2023)



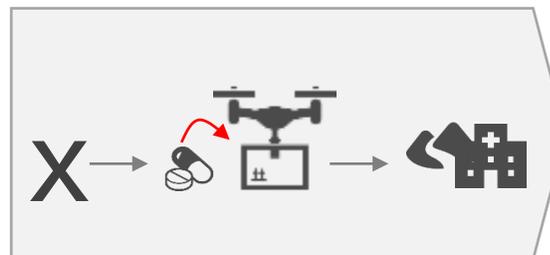
◎医薬品配送は平時 / 緊急時ともに陸路にて運送

第1回目 実証実験の検証



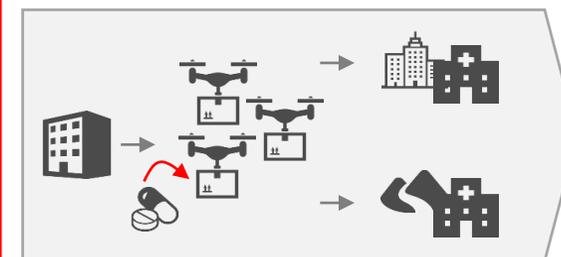
- ◎共同検証プロジェクトの立ち上げ
- ◎レベル2飛行によるドローン活用に向けた実用性確認
- ◎次回以降実施予定としているレベル4飛行での検証に向けた課題抽出

第2回目 実証実験の検証



- ◎ドローンのレベル3相当飛行による医薬品配送の実用性確認
- ◎へき地医療機関への長距離飛行の可否
- ◎次回以降のレベル4飛行に向けた課題抽出

将来構想(FY202x)



- ◎複数のドローンが都心/へき地を問わず、利用者が必要なタイミングで速やか、かつ安定的に医薬品の共有が行える状態

2023年10月24日(火)、和歌山県日高川町での実証実験の様子がメディアにも取り上げられました。



(株)KSKwebサイト

ドローンを用いた医薬品配送の
実証実験を実施、メディア掲載のご案内

(株) ケーエスケー、ドローンを用いた実証実験実施



長距離医薬品配送、自動配送ロボットを利用
和歌山県日高川町

効率性の向上や省人化の必要性

- ・物流2024年問題
- ・労働力不足、人件費・物価高騰

コスト抑制

相反する課題

高品質な物流管理体制の必要性

- ・GDPガイドライン準拠
- ・製薬企業からの物流品質要求

コスト増加

➤ 庫内業務 人時生産性UP

※1時間当たりの出庫個数

➤ 配車システム活用による配送効率UP

➤ 品質保証部の設置と社内教育体制

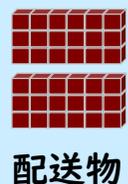
➤ ISO 9001認証取得に向けた取り組み

物流センターKPI 人時生産性改善目標

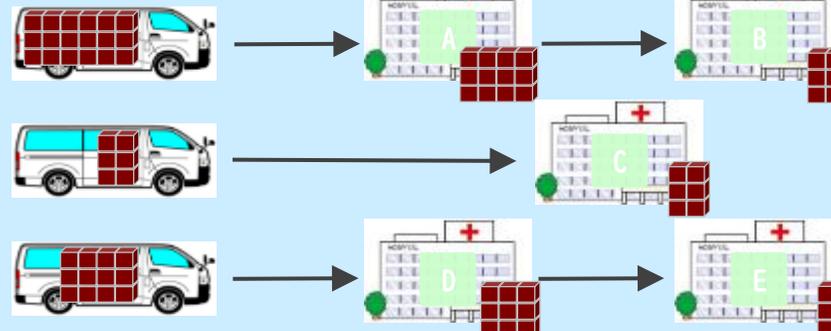
物流拠点	人時生産性改善目標
大阪物流センター	8%UP
兵庫物流センター	6%UP
京都物流センター	8%UP
3物流センター合計	6%UP



現状：ルート配送

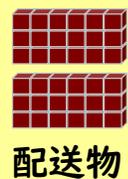


配送物

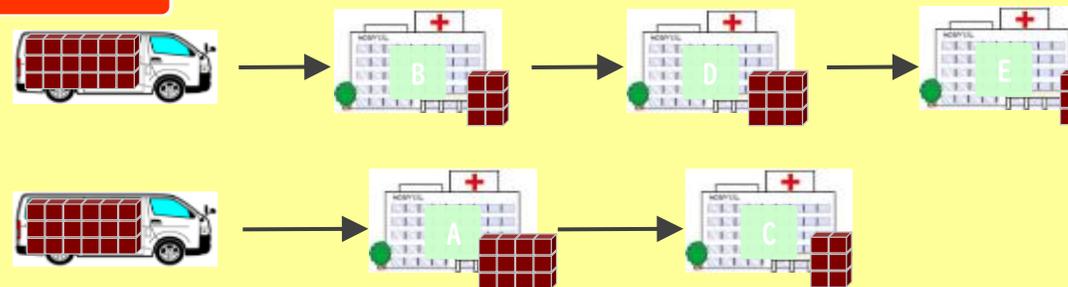


物量にかかわらず、定められたルートに従って配送

今後：物量に応じた最適なルート編成



配送物



➡ 物量に応じて配送物を割り振り、配送ルートを算出

従来のルート配送を廃止し、配車システムを活用した効率的かつ最適な配送体制を構築

GDP

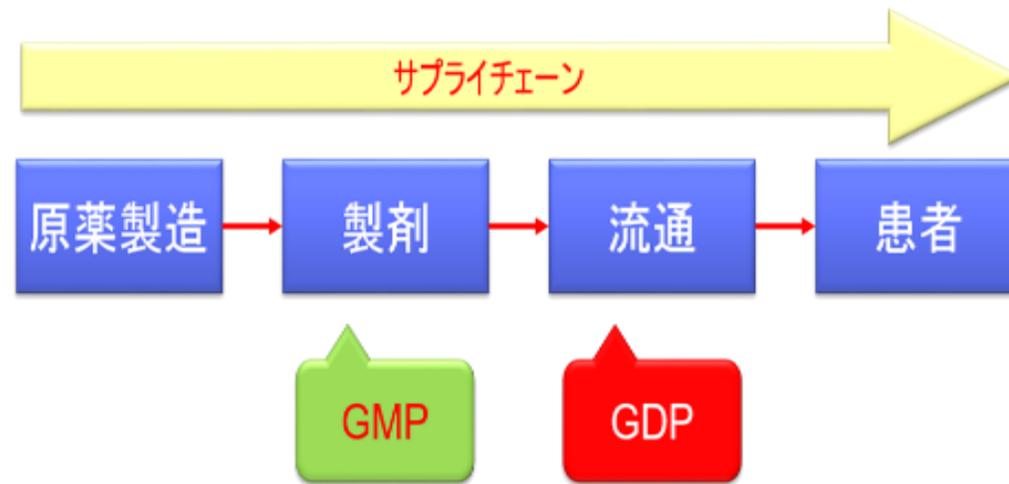
Good Distribution Practice
医薬品の適正流通基準

手順書の整備と社内運用

従業員への教育

温度状況の把握

防虫・防鼠対策の実施



組織図

2023年7月

薬事統括部

品質保証部

薬事管理部

販売情報監督部

ISO
9001

【品質方針】

顧客に安全で高品質の医薬品をお届けするため、品質目標を定め、法令を遵守し、医薬品物流サービスの品質システムを継続的に改善

【ISO認証の準備】

GDPを適用したISOのマネジメントサイクルを構築。

外部機関の講師にて、GDPを絡めたISO規格研修、内部監査員養成研修を実施。

GDP

※ 現状の当社GDPをアップデート

ISO内にGDPの運用を盛り込む事でGDPガイドラインの遵守を強化。

外部審査による評価されることで継続的改善を実施

3. 2025年3月期 通期 業績予想

2025年3月期 通期業績予想

単位:百万円、%

	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想			
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高	587,481	—	590,000			
営業利益	5,556	0.95	5,500	0.93	▲56	99.0
経常利益	6,557	1.12	6,400	1.08	▲157	97.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,843	0.99	6,000	1.02	157	102.7
ROE	5.7%		5.8%			

↑ 売上伸長や販売政策による利益増 12億円
 ↓ コロナワクチン配送収益と貸引戻入の消失 11億円
 ↓ オープン化投資等による販管費増 2億円

↓ 配当金や投資収益の減少

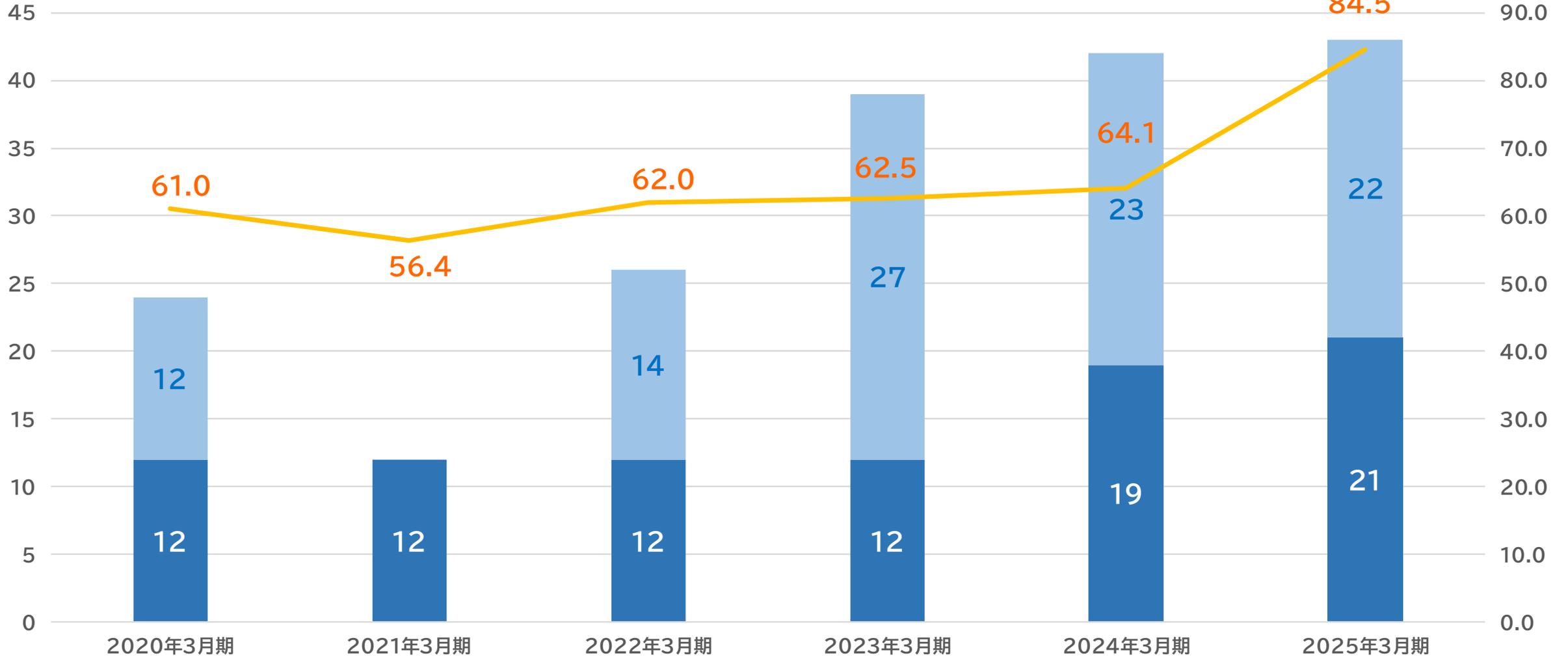
↑ 政策保有株式の処分増加

■ 今期の株主還元

配当金(円)

自己株式200万株
総枠30億円の取得を予定

総還元性向(%)



■ 中間配当 ■ 期末配当 — 総還元性向

将来見通しに係る記述事項

本資料で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績はこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを、ご承知おきください。

従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際にこれらの見通しのみにより全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本資料に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したりこれらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてお願いいたします。

株式会社 バイタルケーエスケーホールディングス

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5787-8550

Mail : ir@vitalksk.co.jp

担当 : 佐藤、南城

質 疑 応 答